

2018年夏季ボーナス支給予定に関するアンケート

筑波総研株式会社 研究員 家内 祐太

要旨

- ・茨城県内の企業における夏季ボーナス支給予定の有無、平均支給月数、昨年と比較した支給額の増減、支給に際して重視する項目について調査した。
- ・76.4%の企業がボーナス支給を予定しており、昨年(76.1%)と概ね横ばいとなった。業種別にみると、製造業が83.8%と昨年(82.0%)に比べ1.8%ポイント上昇、非製造業が72.8%と昨年(73.5%)に比べ0.7%ポイント低下した。
- ・ボーナス支給を予定する企業の平均支給月数は、「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」が38.4%と最も多く、次いで「1.0ヶ月未満」が32.0%、「1.5ヶ月以上2.0ヶ月未満」が21.7%となった。
- ・ボーナス支給を予定する企業のうち、34.4%の企業が支給額の増加を予定しており、昨年(16.6%)より17.8%ポイント上昇した。
- ・ボーナスを支給する企業について、ボーナス支給に際し重視する項目は、第1位が「従業員の士気高揚」、第2位が「現在の企業全体の業績」、第3位が「昨年の支給実績」となった。
- ・弊社が合わせて実施した「第59回茨城県内企業経営動向調査」における2018年4~6月期「自社業績判断DI」実績の水準が高い業種ほどボーナスを増加すると回答した企業の割合が高い結果となり、企業の業績の好調さをボーナスとして従業員に還元している様子が窺われた。一方、同経営動向調査の経営上の問題点において「人手不足・求人難」と回答する企業の割合の高低と、ボーナスを増加すると回答した企業の割合の高低は相関関係が弱い結果になった。

調査実施方法の概要

- ・調査時期：2018年6月上旬~6月下旬
- ・調査方法：「第59回茨城県内企業経営動向調査」実施時に特別調査として、郵送による記名式アンケート方式で実施した。
- ・調査対象企業：茨城県内主要企業912先へアンケートを実施し、461先より回答を得た。

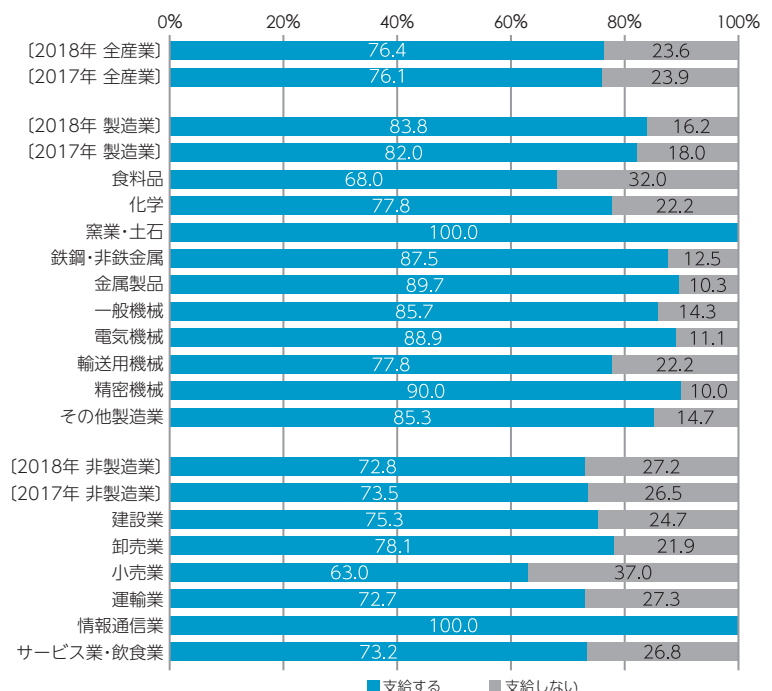
調査結果

1. 夏季ボーナスを支給する企業の割合は76.4%

2018年夏季ボーナスの支給を予定している先は、全産業で「支給する」企業が76.4%と昨年(76.1%)に比べ0.3%ポイント上昇、「支給しない」企業が23.6%と昨年(23.9%)に比べ0.3%ポイント低下した。

(1) 業種別

業種別にみると、製造業で「支給する」企業が83.8%と昨年(82.0%)に比べ1.8%ポイント上昇、「支給しない」企業が16.2%と昨年(18.0%)に比べ1.8%ポイント低下した。また、非製造業で「支給する」企業が72.8%と昨年(73.5%)に比べ0.7%ポイント低下、「支給しない」企業が27.2%と昨年(26.5%)に比べ0.7%ポイント上昇した。



※比率：項目回答数÷回答企業数×100 (いずれか1つのみ回答可)
 以下1. 2. 3. 計表も同様

(2) 地域別

地域別にみると、県南地域が74.7%と昨年(77.7%)に比べ3.0%ポイント低下、県西地域が70.8%と昨年(67.4%)に比べ3.4%ポイント上昇、鹿行地域が83.3%と昨年(83.3%)から横ばい、県央地域が87.8%と昨年(85.0%)に比べ2.8%ポイント上昇、県北地域が77.3%と昨年(78.8%)に比べ1.5%ポイント低下した。

| | 2018年 | | | 2017年 | | |
|------|-------|------|------|-------|-------|------|
| | 支給する | 支給する | 前年差 | 支給しない | 支給しない | 前年差 |
| 県南地域 | 74.7 | 77.7 | ▲3.0 | 25.3 | 22.3 | 3.0 |
| 県西地域 | 70.8 | 67.4 | 3.4 | 29.2 | 32.6 | ▲3.4 |
| 鹿行地域 | 83.3 | 83.3 | 0.0 | 16.7 | 16.7 | 0.0 |
| 県央地域 | 87.8 | 85.0 | 2.8 | 12.2 | 15.0 | ▲2.8 |
| 県北地域 | 77.3 | 78.8 | ▲1.5 | 22.7 | 21.2 | 1.5 |

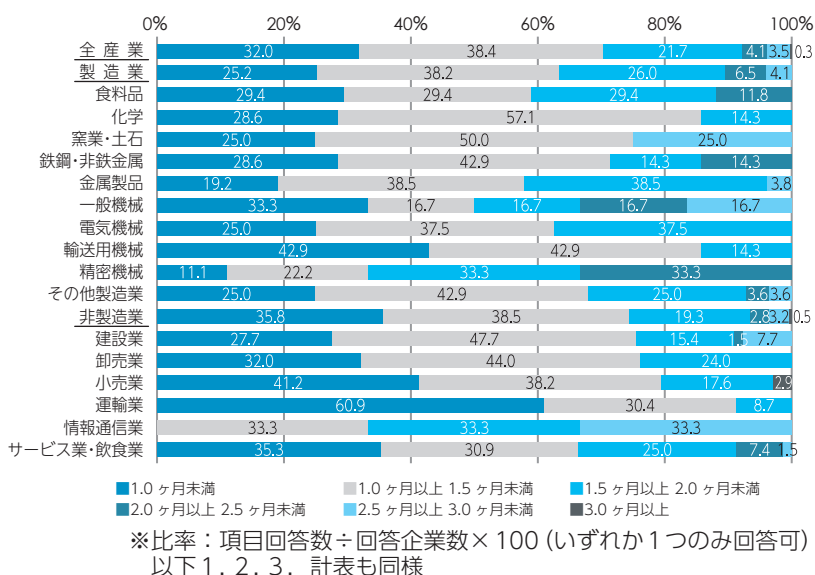
(3) 従業員数別

従業員数別にみると、30人未満の企業が67.9%と昨年(67.7%)に比べ0.2%ポイント上昇、30~99人の企業が90.7%と昨年(90.7%)から横ばい、100~299人の企業が94.3%と昨年(92.1%)に比べ2.2%ポイント上昇、300人以上の企業が100.0%と昨年(100.0%)から横ばいとなった。

| | 2018年 | | | 2017年 | | |
|----------|-------|-------|-----|-------|-------|------|
| | 支給する | 支給する | 前年差 | 支給しない | 支給しない | 前年差 |
| 30人未満 | 67.9 | 67.7 | 0.2 | 32.1 | 32.3 | ▲0.2 |
| 30~99人 | 90.7 | 90.7 | 0.0 | 9.3 | 9.3 | 0.0 |
| 100~299人 | 94.3 | 92.1 | 2.2 | 5.7 | 7.9 | ▲2.2 |
| 300人以上 | 100.0 | 100.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

2. 夏季ボーナスの平均支給月数は「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」が38.4%と最も多い

2018年夏季ボーナスの支給月数は、全産業で、「1.0ヶ月未満」と回答した企業の割合が32.0%、「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」が38.4%、「1.5ヶ月以上2.0ヶ月未満」が21.7%、「2.0ヶ月以上2.5ヶ月未満」が4.1%、「2.5ヶ月以上3.0ヶ月未満」が3.5%、「3.0ヶ月以上」が0.3%となった。

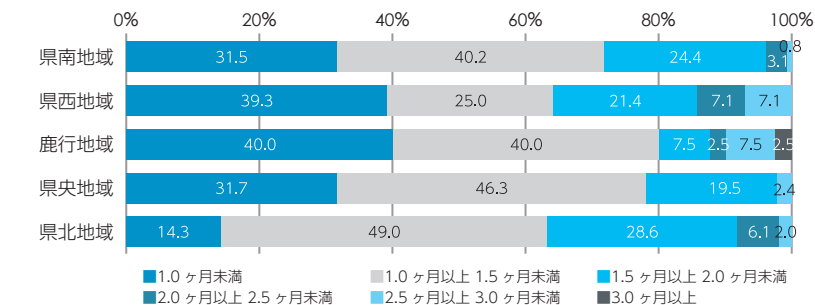


(1) 業種別

業種別にみると、製造業、非製造業ともに、「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」と回答した企業の割合が最も高い(製造業38.2%、非製造業38.5%)結果となった。

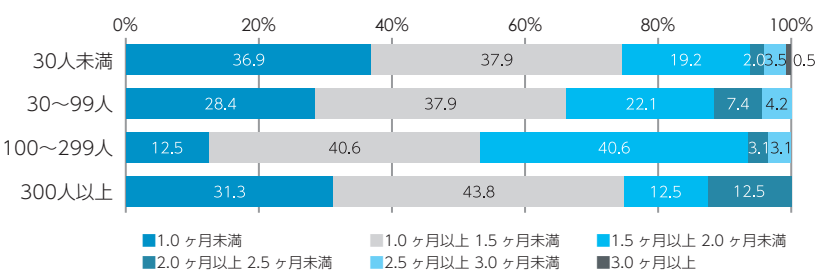
(2) 地域別

地域別に最も回答割合が高い項目をみると、県南地域、県央地域及び県北地域が「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」、県西地域が「1.0ヶ月未満」、鹿行地域が「1.0ヶ月未満」及び「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」となった。



(3) 従業員数別

従業員数の規模別に最も回答割合が高い項目をみると、30人未満の企業、30~99人の企業及び300人以上の企業が「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」、100~299人の企業が「1.0ヶ月以上1.5ヶ月未満」及び「1.5ヶ月以上2.0ヶ月未満」となった。



3. 昨年(2017年)の夏季ボーナスに比べ、支給額を増加する予定の企業は34.4%

昨年の夏季ボーナスと比べた支給額の増減は、全産業で「増加する」企業が34.4%と昨年(16.6%)に比べ17.8%ポイント上昇、「横ばい」の企業が58.4%で昨年(74.7%)に比べ16.3%ポイント低下、「減少する」企業が7.2%と昨年(8.7%)に比べ1.5%ポイント低下した。

(1) 業種別

業種別にみると、製造業で「増加する」企業が39.1%と昨年(22.8%)に比べ16.3%ポイント上昇、「横ばい」の企業が51.3%と昨年(70.2%)に比べ18.9%ポイント低下、「減少する」企業が9.6%と昨年(7.0%)に比べ2.6%ポイント上昇した。

また、非製造業で「増加する」企業が32.0%と昨年(13.5%)に比べ18.5%ポイント上昇、「横ばい」の企業が62.1%と昨年(77.0%)に比べ14.9%ポイント低下、「減少する」企業が5.9%と昨年(9.6%)に比べ3.7%ポイント低下した。

| | 2018年 増加する | 2017年 増加する | 2018年 横ばい | 2017年 横ばい | 2018年 減少する | 2017年 減少する |
|------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 全産業 | 34.4 | 16.6 | 58.4 | 74.7 | 7.2 | 8.7 |
| 製造業 | 39.1 | 22.8 | 51.3 | 70.2 | 9.6 | 7.0 |
| 非製造業 | 32.0 | 13.5 | 62.1 | 77.0 | 5.9 | 9.6 |

※「その他」の回答は集計から除外 以下3. (2)(3)計表も同様

| | 増 加 | | | | | | | 横ばい | 減 少 | | | | | | その他 |
|-----------|------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------|------|------|--------------|--------------|--------------|---------------|-------|------|-----|
| | 1%未満 | 1%以上 2%未満 | 2%以上 3%未満 | 3%以上 5%未満 | 5%以上 10%未満 | 10%以上 | 1%未満 | | 1%以上 2%未満 | 2%以上 3%未満 | 3%以上 5%未満 | 5%以上 10%未満 | 10%以上 | | |
| 全産業 | 5.3 | 11.8 | 5.6 | 4.7 | 3.8 | 2.6 | 57.4 | 2.1 | 1.2 | 0.6 | 0.3 | 1.2 | 1.8 | 1.8 | |
| 製造業 | 2.6 | 10.3 | 7.7 | 6.8 | 5.1 | 6.0 | 50.4 | 4.3 | 0.9 | 0.0 | 0.9 | 2.6 | 0.9 | 1.7 | |
| 食料品 | 0.0 | 12.5 | 18.8 | 0.0 | 0.0 | 6.3 | 56.3 | 6.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 化学 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 57.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | |
| 窯業・土石 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 71.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | |
| 鉄鋼・非鉄金属 | 16.7 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 33.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 金属製品 | 3.8 | 11.5 | 11.5 | 11.5 | 7.7 | 3.8 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 一般機械 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 16.7 | 0.0 | 50.0 | 16.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 電気機械 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | 14.3 | 0.0 | 14.3 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 輸送用機械 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 | 28.6 | 14.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 14.3 | 14.3 | |
| 精密機械 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 25.0 | 50.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 12.5 | 0.0 | 0.0 | |
| その他製造業 | 3.7 | 3.7 | 7.4 | 7.4 | 3.7 | 3.7 | 55.6 | 3.7 | 3.7 | 0.0 | 3.7 | 0.0 | 0.0 | 3.7 | |
| 非製造業 | 6.7 | 12.6 | 4.5 | 3.6 | 3.1 | 0.9 | 61.0 | 0.9 | 1.3 | 0.9 | 0.0 | 0.4 | 2.2 | 1.8 | |
| 建設業 | 2.9 | 13.2 | 4.4 | 1.5 | 5.9 | 0.0 | 61.8 | 0.0 | 1.5 | 0.0 | 0.0 | 1.5 | 4.4 | 2.9 | |
| 卸売業 | 8.3 | 12.5 | 4.2 | 0.0 | 4.2 | 0.0 | 66.7 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.2 | |
| 小売業 | 17.6 | 8.8 | 8.8 | 5.9 | 2.9 | 0.0 | 50.0 | 2.9 | 2.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| 運輸業 | 8.7 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 69.6 | 4.3 | 0.0 | 4.3 | 0.0 | 0.0 | 4.3 | 0.0 | |
| 情報通信業 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 75.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | |
| サービス業・飲食業 | 4.3 | 15.7 | 4.3 | 7.1 | 1.4 | 1.4 | 60.0 | 0.0 | 1.4 | 1.4 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 1.4 | |

(2) 地域別

地域別にみると、「増加する」と回答した企業の割合は、県南地域が27.8%と昨年(11.8%)に比べ16.0%ポイント上昇、県西地域が41.3%と昨年(17.2%)に比べ24.1%ポイント上昇、鹿行地域が43.2%と昨年(20.0%)に比べ23.2%ポイント上昇、県央地域が43.9%と昨年(26.5%)に比べ17.4%ポイント上昇、県北地域が26.0%と昨年(19.2%)に比べ6.8%ポイント上昇し、いずれの地域も上昇した。

| | 2018年 増加する | 2017年 増加する | 2018年 横ばい | 2017年 横ばい | 2018年 減少する | 2017年 減少する |
|------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 県南地域 | 27.8 | 11.8 | 65.1 | 79.4 | 7.1 | 8.8 |
| 県西地域 | 41.3 | 17.2 | 51.3 | 74.7 | 7.5 | 8.0 |
| 鹿行地域 | 43.2 | 20.0 | 51.4 | 68.6 | 5.4 | 11.4 |
| 県央地域 | 43.9 | 26.5 | 43.9 | 61.8 | 12.2 | 11.8 |
| 県北地域 | 26.0 | 19.2 | 70.0 | 75.0 | 4.0 | 5.8 |

(3) 従業員数別

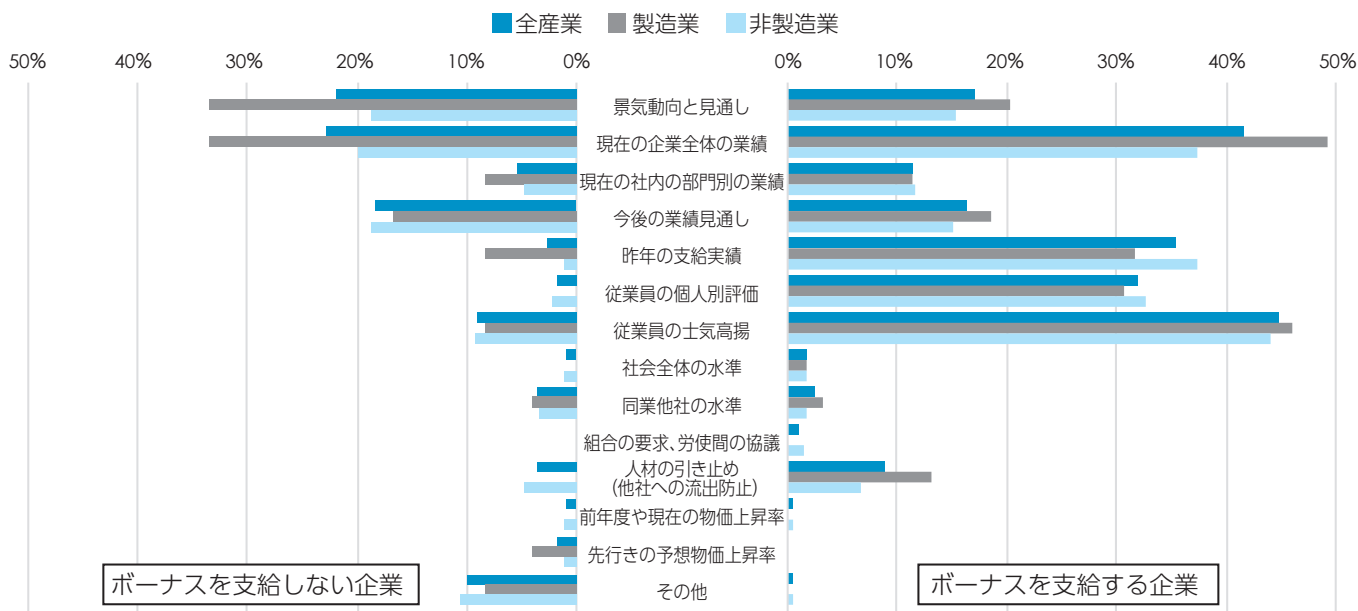
従業員数別にみると、「増加する」と回答した企業の割合は、30人未満の企業が26.8%と昨年(12.1%)に比べ14.7%ポイント上昇、30~99人の企業が44.1%と昨年(19.4%)に比べ24.7%ポイント上昇、100~299人の企業が38.7%と昨年(34.3%)に比べ4.4%ポイント上昇、300人以上の企業が62.5%と昨年(16.7%)に比べ45.8%ポイント上昇し、いずれの規模も上昇した。

| | 2018年 増加する | 2017年 増加する | 2018年 横ばい | 2017年 横ばい | 2018年 減少する | 2017年 減少する |
|----------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|---------------|
| 30人未満 | 26.8 | 12.1 | 66.0 | 79.9 | 7.2 | 8.0 |
| 30~99人 | 44.1 | 19.4 | 48.4 | 70.4 | 7.5 | 10.2 |
| 100~299人 | 38.7 | 34.3 | 54.8 | 60.0 | 6.5 | 5.7 |
| 300人以上 | 62.5 | 16.7 | 31.3 | 66.7 | 6.3 | 16.7 |

4. ボーナス支給に際し、最も重視する事項は「従業員の士気高揚」

夏季ボーナスを「支給する」と回答した企業について、ボーナスの支給に際し重視した事項は、全産業で第1位が「従業員の士気高揚」、第2位が「現在の企業全体の業績」、第3位が「昨年の支給実績」となった。昨年は、第1位が「現在の企業全体の業績」、第2位が「従業員の士気高揚」、第3位が「昨年の支給実績」であり第1位と第2位が入れ替わった。

また、「支給しない」と回答した企業については、全産業で第1位が「現在の企業全体の業績」、第2位が「景気動向と見通し」、第3位が「今後の業績見通し」となった(昨年の調査では、ボーナスを「支給しない」企業は回答の対象外)。



※比率：項目回答数 ÷ 回答企業数 × 100(3 つまで回答可)

5. 自社業況判断が良い業種ほどボーナス支給額を増やす企業の割合が高い傾向、一方、人手不足・求人難の割合の高低とボーナス支給増加の相関関係は弱い結果

今回、弊社が合わせて実施した「第59回茨城県内企業経営動向調査」における2018年4~6月期「自社業況判断DI」実績の水準が高い業種ほど、今回の調査でボーナスの支給額を増加すると回答する割合が高い傾向がみられ、自社の業績の好調さをボーナスに反映させる様子が窺えた。

一方、同経営動向調査の経営上の問題点において「人手不足・求人難」と回答する企業の割合の高低とボーナスの支給額を増加すると回答する割合の高低の相関関係は弱い結果になった。

人手を確保して需要・受注に応じた生産活動を行うためにボーナスの支給を増やす先が多いとみられる一方で、人手不足の一段の進展により、生産活動が需要・受注に応じることができず、結果的に業績が低下し、ボーナスの支給額の増加が図れないという企業が出てきている可能性がある。

